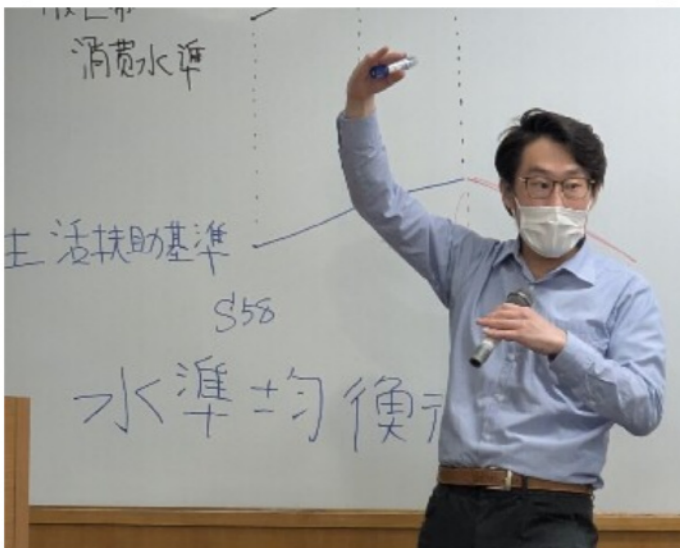


# しっかり学んで反撃しよう 新春緊急学習会を開催 生存権裁判を支える東京連絡会



講演する佐藤弁護士

生存権裁判を支える東京連絡会と都生連は、昨年6月の最高裁での歴史的勝利判決に確信をもって次の闘いの意志統一をしようと、3月6日(金)に、立川市女性総合センター・アイムで「最高裁判決を活かきって憲法25条をもっと輝かそう 第2弾早春学習会」を開催し、34人が参加しました。

学習会では、弁護団の佐藤宙先生から、はじめに「生活保護が最後のセーフティーネットという意味」とは、無差別・平等に利用できる権利であり、他の

社会保障を下支えする基盤だ。保護引き下げが、就学援助・住民税非課税限度額・保育料や国民年金の減免・医療費の限度額・介護保険の減免や最低賃金にも影響する問題であることが確認されました。

学習会では、厚生労働省が、12年の歳月を費やして闘われた裁判のなかで検討しつくされ、最高裁判決で「物価変動率を指標として~判断の過程及び手続に過誤・欠落があったとして違法を認める」として、引き下げが取り消されたにもかかわらず、その判決を軽く見て給付額を値切る不当な対応をとってきたことに対して、新たな闘いが提起されました。

あわせて、4月20日に東京高裁で行われる、第1回口頭弁論の傍聴・報告集会へ多くの参加で成功させようと呼びかけがありました。

この学習会に先立ち、12時から立川駅前で行った宣伝行動が取り組まれ16人が参加しました。署名は、都生連が取り組んでいる国会に向け「最高裁判決に従い生活保護制度を拡充させてください」というものです。厚労省の不当な対応について訴えると、「今回の国のやり方は本当にひどいと思っていた。署名をさせてほしい」と声がかかり、1時間の宣伝行動でチラシ入りのテッシュ500枚を配布し、署名20筆が寄せられました。



立川駅前の宣伝行動の様子

**地域社保協の情報をお寄せください**  
地域の取り組みの交流で  
運動を前進させましょう！  
東京社保協へメールで  
情報提供をお願いします

新生権裁判東京控訴審  
みんなはみんなのために

4月20日は東京高裁  
第1回口頭弁論！

傍聴へご参加をお願いします



10:30~ 東京高裁前集合  
11:00~ 傍聴参加抽選・入廷行動  
11:30~ 東京高裁傍聴 101号法廷



# 東京社保協ニュース

東京社会保障推進協議会  
〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10  
東京労働会館6F  
TEL: 03-5395-3165 FAX: 03-3946-6823  
東京社保協 検索

## ミサイルより社会保障の拡充を 5・3憲法集会を結節点に改憲勢力を包囲する 憲法守れのうねりを街のすみずみからおこしましょう



昨年の憲法集会の様子

アメリカとイスラエルが強行したイラン攻撃。国連憲章・国際法違反の暴挙に国際社会は批判を強め、アメリカでも全米50州3300か所以上で800万人以上が参加して「無法な戦争に抗議する」史上最大のデモが展開されています。

そして、私たちの日本でも、第2次高市内閣が狙う改憲発議と戦争への道をみんなで止めようと、2月19日に衆議院第2議員会館前で「19日行動」が行われました。東京憲法会議の田中事務局長が参加者にインタビューした記事をご紹介します。「色とりどりのペンライトを持った人に話を聞くと、ほとんどが初参加ということで、寒さを忘れるほど励まされました。手作りの『不戦と非核』と書いたプラスターを持った女性は、『初めての参加です。高市さんの改憲発言を聞いて、声を上げ行動しなくては変わらないと思い参加しました』ときっぱり。20代から40代の女性が多く、持っているペンライトにはアイドルグループの中江が書いてあったり、手書きの『平和』などを貼り付けて楽しそうでした」現場の熱気が伝わってきます。そして、25日には、

国会正門前などで平和憲法を守るための緊急アクションが開催され、大粒の雨が降る中、2万4千人が参加し、「戦争反対 憲法守れ」とコールを響かせました。4月も各地で集会が予定されています。戦争と社会保障は共存できません。「戦争反対」「憲法守れ」の声を地域のすみずみからおこし、5月3日の憲法集会を大きく成功させましょう。「憲法を変え、戦争をする国づくり」を狙う動きを止められるのは、今しかありません。



## 今こそ社保協の出番です 東京社保協総会のご参加ください

いよいよ第56回東京社保協定期総会が開催されます。第55期は、社会保障をめぐる厳しい情勢の中にあっても、大きな国民的な運動の広がりの中で踏みとどまり、改悪を押し返す流れも作ってきました。地域では、運動の輪を思い切って広げる粘り強いとりくみが様々な変化を作り出しています。悪政を包囲する草の根からの運動が求められています。

今こそ社保協の出番であることに確信をもち、ご一緒に一步を踏み出すために、総会への皆様のご参加をお待ちしています。

とき 5月24日(日)10時30分より  
ところ けんせつプラザ東京5階  
新宿区北新宿1-8-16  
大久保駅北口徒歩3分・新大久保駅徒歩8分

### 子ども子育て支援金を医療保険に上乗せするな 3・2子ども家庭庁・厚労省交渉 引き続き運動を強めましょう



3月2日(月)中央社保協は、衆議院第1議員会館で、4月から始まる「子ども子育て支援金」について、①医療保険料からの徴収をやめること、②制度の在り方を再検討すること、③実質負担増とならないよう財政支援を行うこと、などを求めて、こども家庭庁と厚労省に要請しました。会場参加者は19人、WEBから14回線の参加がありました。

はじめに埼玉社保協の段事務局長が、「物価高騰が続き、国民生活はますますひっ迫している。子ども子育て支援金の医療保険からの徴収により、国民の負担がさらに増すことになる。見直してもらいたい」と訴えました。

京都社保協の松本事務局長は、「医療保険に医療とは別の目的で上乗せ徴収することは社会保険の原理から逸脱している。子育てのための財源は国の責任で行うべき」と指摘。神奈川社保協の根本事務局長は、「自治体国保課では国が言う“実質負担にならない、説明がつかない」と怒りの声を紹介。神奈川建設労連の曾我さんは、「建設国保が値上がりすることで、職人はみんな怒っている」と主張。全商連の大藤さんは国保加入者の生活実態を訴え、自治労連の山本さんは、窓口立つ自治体労働者に負担を押し付ける国の姿勢に怒りをにじませました。

子ども家庭庁は、「子ども子育て支援制度に関して様々なご指摘を受けている。本日より専用ダイヤルを設置して対応している。子ども子育て支援制度は国会の審議で、医療保険料による徴収が決まったこと。今後の見直しは国会で審議されることで、予定通り進めていく」と回答しました。

中央社保協の林事務局長から「子ども子育て支援

の充実と同じ思い。しかし医療・社会保障の制度改悪をおこないながら、医療保険料から収奪する支援金制度の問題点は明らか。全国各地から集った署名と、今日の現場からの発言を重く受け止め、今後の政策に役立ててもらいたい」と訴えました。

当日提出された団体署名は1243筆、そのうち東京から144筆、短期間のうち多くの署名が寄せられました。ありがとうございます。

4月から、医療保険への子ども子育て支援金の賦課が実施されますが、東京社保協では、全国の仲間とともに負担軽減策を求める運動を進めていきたいと考えています。引き続きご協力をお願いします。

### 介護保険の抜本改善・大幅処遇改善を求める 3.18介護署名提出行動 さらにたくさんの署名を積み上げましょう

3月18日(水)に、現在取り組みを進めている介護署名の第2回提出行動が行われ、第1回と合わせ31万4751筆を提出しました。

提出行動では、「介護保険をめぐる情勢」として、全日本民医連の林さんからミニ学習がありました。

引き続き制度改悪の中止、介護報酬の底上げ、大幅な処遇改善、国庫負担の引き上げによる制度の抜本改善を基本要求として実現を求めていくこと。

「ミサイルではなくケアを」の声をあげ、一緒に現場の声を届けていきましょうと呼びかけがありました。次回は5月26日(火)に、第3回提出行動が予定されています。



### 次回の4の日宣伝 4月14日(火)巣鴨駅で 5月14日(木)12時から

### 区民のいのちと暮らし・営業を守る支援活動の強化を確認 シルバーパスへの助成が実現・さらに補聴器助成拡充も 葛飾社保協第31回定期総会



葛飾社保協総会の様子

3月24日(火)第31回葛飾社保協定期総会が27人の参加で開催されました。

葛飾区では、2026年度から、70歳以上の高齢者のシルバーパスについて、住民税課税の人にも区独自に11,000円補てんで、実質所得制限な

## 各地域・団体の取り組み

### 小学校の給食調理室の空調環境の整備を求め スポットクーラーの設置が実現 東久留米子どもと教育連絡会

2月22日(日)東久留米社保協第22回定期総会が開催され、あらたに3人の仲間を新役員に迎えました。12月に行われた市長選挙で、「市民要求置き去りの市政から、市民参加の市政」と求める運動の中で輪が広がっています。総会の中で報告された「子どもと教育連絡会」の取り組みを紹介します。

子どもと教育連絡会は、新婦人・革新懇・教科書を考える会・9条の会・母親連絡会などが参加団体となっています。学校や教育の問題にかかわっていくうちに、市民からは見えなかった学校の問題が見えてくるようになりました。

「中学校全員給食の実現」に向け取り組む中で、おいしい給食を提供してくれている現場の調理師さんたちの過酷な労働環境が問題となりました。

子どもと教育連絡会では3年前から給食室の空調設備の改善を求める請願を提出し、市議会各会派への働きかけや、学務担当者と懇談をしてきました。

当初は、市議会での請願審査で担当課は、財政上

の一律1000円で利用できるようになります。総会では、「区長は今回の助成について“高齢者の外出や社会参加を促すことにより、健康寿命の延伸や介護予防につなげます」といっている。補聴器助成も課税・非課税の区別をなくすように運動を進めていこう」と発言がありました。また、昨年9月に開催した12回目を迎えた「生活支援・相談プロジェクト」について、回を追うごとに取り組みの輪が広がり、区からも支援物資の提供を得ていること、多くの支援金が寄せられ、多くの要員がプロジェクトを支えていることなどが報告され、さらに相談活動を重視していくことが提案されました。次回の「生活支援・相談プロジェクト」は5月16日(上)に開催される予定も確認されました。

11月に行われた葛飾区長・区議会議員選挙で争点となった「葛飾区庁舎移転、京成線・立石駅北口再開発」の問題についても報告があり、「区民参加の区政の実現のために様々な取り組みを進めよう」との訴えもありました。

の理由で型通りの答弁しかしてきませんでした。粘り強く運動を進める中で担当課との懇談で手ごたえを感じることができました。そして、小さな一歩ではありますが、今年3月の議会で空調設備改善のための回転式スポットクーラー設置が予算化されることになりました。スポットクーラーでは、小さな改善しか望めませんが、担当課の努力を受け止め、これからも現場の実態をつかんで、さらに改善が進むよう要望を出していきたいと考えています。

<東久留米子どもと教育連絡会 鈴木清子さんより>



東久留米社保協総会の様子